

決算発表が出揃った米大手ハイテク株の行方



シニア・ストラテジスト 石黒英之

ポイント① 米大手ハイテク企業の決算は好調

米大手ハイテク企業5社（マイクロソフト、アップル、アマゾン・ドット・コム、アルファベット、メタ・プラットフォームズ）の決算発表が出揃いました。5社合計の23年10-12月期の売上高は前年同期比12%増の4,780億米ドル、純利益は同56%増の1,011億米ドルと、大幅な増収増益となりました。生成AI（人工知能）需要の拡大や世界的なテクノロジーサイクルの底入れなどが業績を押し上げた格好です。

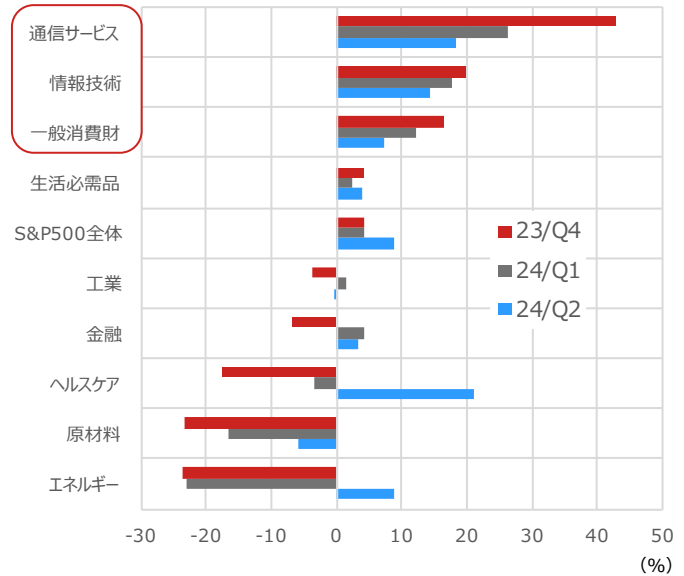
先行きの業績についても明るい見方が広がっています。米大手ハイテク企業7社を指すマグニフィセントセブン（M7）が属する通信サービスや情報技術、一般消費財の業種別EPSは、S&P500企業全体を上回る成長が続く見通しです（右上図）。

ポイント② ハイテク株は選球眼が試される局面に

ハイテク株主体で構成されるNASDAQ100の12カ月先予想EPSは力強い伸びが続いており、25年にかけても利益成長が続く見込みです（右下図）。利益の急拡大により、NASDAQ100の5日時点の12カ月先予想PER（株価収益率）は25倍台と、過去10年平均の21.8倍を上回っていますが、前回の最高値局面の29倍台から比べると、業績面からみた過度な過熱感は和らいでいます。今後の利益成長性の高さを考えると、業績の拡大とともにNASDAQ100の上昇基調は継続しそうです。

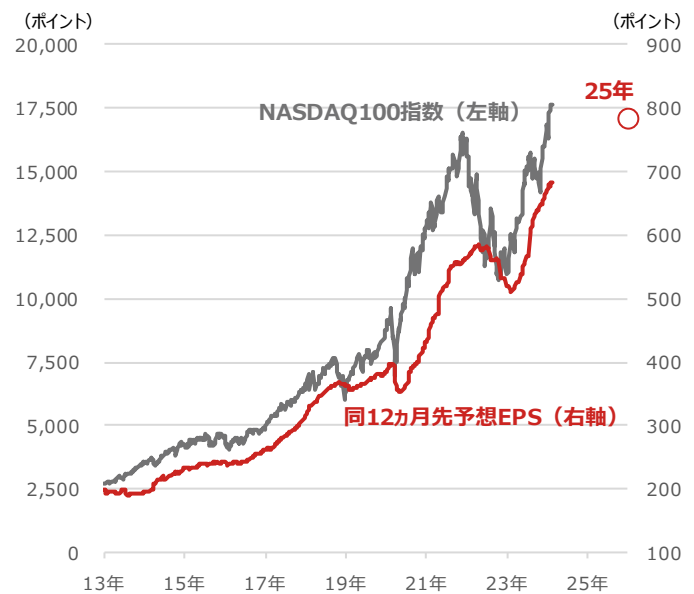
ただし、銘柄間の株価パフォーマンス格差が広がりつつある点には注意が必要です。M7の時価総額は今年に入り8,981億米ドル（昨年末比7.5%増、5日時点）増加していますが、アップルやテスラの株価は下落しています。生成AI需要の取り込みなど業績面の格差が株価にも反映されやすい流れが続くとみられ、銘柄選別が重要となりそうです。

S&P500企業の
主要業種別のEPS（1株当たり利益）成長率予想



期間：2023年Q4（第4四半期）～2024年Q2（第2四半期）、四半期
 ・EPS成長率は前年同期比で、いずれも2024年2月2日時点のBloomberg予想
 ・業種の囲みはマグニフィセントセブン企業が属する業種。アルファベット、メタ・プラットフォームズは通信サービス、マイクロソフト、アップル、エスビディアは情報技術、アマゾン・ドット・コム、テスラは一般消費財に属する
 （出所）Bloombergより野村アセットマネジメント作成

NASDAQ100と同12カ月先予想EPS



期間：2013年1月4日～2024年2月5日、週次
 ・○印は2025年のBloomberg予想（2024年2月5日時点）
 （出所）Bloombergより野村アセットマネジメント作成

個別銘柄の記載は、特定銘柄の売買などの推奨、また価格の上昇や下落を示唆するものではありません。

*当資料は、一部個人の見解を含み、会社としての統一見解ではないものもあります。

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆しないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。